

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成25年度病害虫発生予察注意報第2号について

平成25年度病害虫発生予察注意報第2号を発表したので送付します。

## 平成25年度病害虫発生予察注意報第2号

平成25年7月25日  
宮 崎 県

病害虫名 いもち病

作物名 普通期水稻

1 発生地域 県下全域

2 発生量 多

### 3 注意報の根拠

- 1) 6月中旬の巡回調査において、葉いもちの発生は未確認であったが、その後の7月中旬の巡回調査では、発生面積率が25.0%（平年5.7%）、発病度が1.39（平年0.28）、発病株率5.5%（平年0.9%）でいずれも平年に比べて多の発生となり、県北部を中心に短期間で急激に増加している（表-1、図1、2）。また、西臼杵支庁・各農林振興局の調査では、各地で葉いもちが散見されている。
- 2) アメダスデータを利用したいもち病発生予測システム（BLASTAM）によると、6月下旬から7月初旬にかけて県内各地で感染好適日が複数回出現している。
- 3) 向こう1ヶ月の天候は、平年と同様に晴れの日が多く、降水量は平年よりも多い確率が40%、気温は平年並の確率が50%と予想されている（鹿児島地方気象台7月19日発表1ヶ月予報）。

表-1 7月中旬の巡回調査における葉いもちの発生状況

区分	調査地点数	程度別発生面積率(%)				発生面積率(%)	発病度	発病株率(%)
		甚	多	中	少			
全県	40	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0 (5.7)	1.39(0.28)	5.5 (0.9)
東諸県	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
北諸県	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
西諸県	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
東臼杵	10	0.0	0.0	0.0	70.0	70.0	3.74	15.0
西臼杵	8	0.0	0.0	0.0	37.5	37.5	2.25	9.0

( )内は平年値

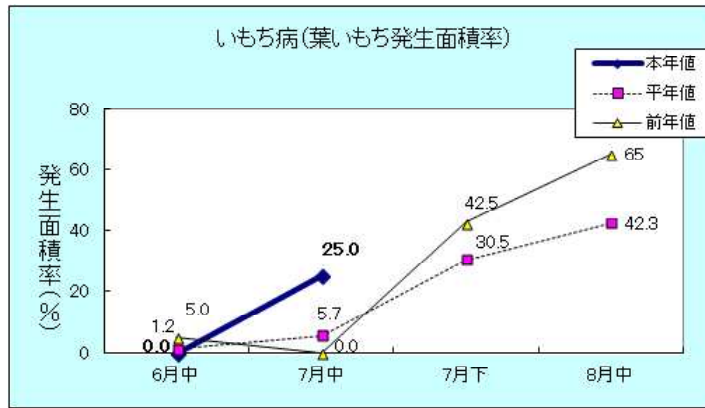


図1．巡回調査における発生面積の推移

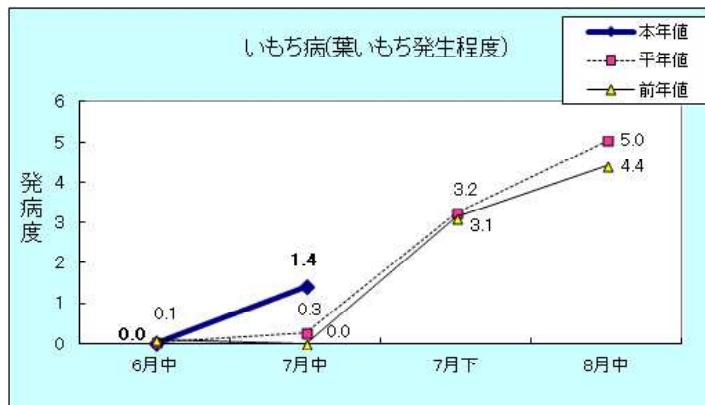


図2．巡回調査における発生程度（発病度）の推移

#### 4 防除上の注意

- 1) 移植時に育苗箱施薬をしていないほ場では、葉いもちの早期発見に努め、防除を徹底する。育苗箱施薬を行ったほ場でも、薬効が切れた後に葉いもちの発生が多くなる場合があるので注意し、分けつ期までに発生がみられる場合には早めの追加防除を行う。
- 2) 気温の上昇に伴い、葉いもちの発生は一時的に高温抑制されるため、発生が確認されない場合でも、穂いもちを対象に、穂ばらみ後期と穂揃期の防除を徹底する。
- 3) 葉いもちが上位葉に発生している場合や、出穂期及びその後も降雨が続いて穂いもちの発生が予想される場合は、穂揃期の7～10日後に追加防除を行う。
- 4) 雨の多い時は雨間散布を行い、防除適期を失ないようにする。

#### 5 その他

- 1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- 2) 6月1日から8月31日の3ヶ月間、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

#### 《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病害虫防除・肥料検査課  
 （病害虫防除・肥料検査センター） 齋藤  
 TEL：0985-73-6670 FAX：0985-73-2127  
 E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp